

平成25年臨床研修修了者アンケート調査 結果概要 (中間報告)

調査方法

○ 臨床研修制度の向上に向けた基礎資料とするため、平成25年3月に臨床研修を修了予定(平成23年4月研修開始)の研修医7,545名に対し、厚生労働省より自記式質問票を送付。平成25年3月中を回答期間とし、回収・集計。

調査結果

※以下(参考H24)とあるのは、昨年の調査結果(平成24年3月研修修了者対象)

○回収率 76.0%(回収数5,735枚)

配布対象者	回収数	回収率	有効回答数
7,545	5,735	76.0%	5,735
(参考H24) 7,506	5,057	67.4%	5,057

○回答者の基本属性

臨床研修を行った病院の種別

病院の種別	人数	割合	(参考H24)
大学病院	2,496	43.5%	48.3%
臨床研修病院	3,101	54.1%	51.4%
無回答	138	2.4%	0.3%

男女比

男性		女性		無回答	
人数	割合	人数	割合	人数	割合
3,694	64.4%	1,872	32.6%	169	3.0%

出身大学の所在する地域

地域	人数	割合
北海道	198	3.5%
東北	406	7.1%
関東信越	1,921	33.5%
東海北陸	758	13.2%
近畿	830	14.5%
中国・四国	691	12.1%
九州	821	14.3%
海外の医学校	13	0.2%
無回答	97	1.7%

臨床研修の実施状況等について

臨床研修を行った病院を選んだ理由

○病院を選んだ理由は、

- ・大学病院では、出身大学である、プログラムが充実、研修後の進路やキャリア上有利などが多い。
- ・一方、臨床研修病院では、プログラムが充実、多くの症例が経験できる、様々な診療科等でバランス良い経験を積める、プライマリ・ケアの能力を修得できるなどが多い。

○これらの傾向は、例年おおむね同様の傾向となっている。

臨床研修を行った病院を選んだ理由(※複数回答のうち「最も影響が強かった」と回答した項目)

順位	大学病院で研修した研修医の回答			臨床研修病院で研修した研修医の回答		
	理由	割合		理由	割合	
1	出身大学だから	29.6%	(参考H24) 25.4%	臨床研修のプログラムが充実	21.5%	(参考H24) 22.5%
2	臨床研修のプログラムが充実	16.2%	20.4%	多くの症例を経験できる	13.7%	12.4%
3	臨床研修後の進路やキャリアを考えて有利	11.7%	9.4%	様々な診療科・部門でバランス良い経験を積める	12.6%	10.8%
4	たすきがけプログラムがあったから	11.2%	10.0%	プライマリ・ケアに関する能力を修得できる	10.3%	9.7%
5	実家に近い	5.0%	6.6%	熱心な指導医が在職	5.7%	4.7%

満足度等

- 臨床研修の満足度は、5点満点中約4点である。
- 基本的な診療能力の修得の観点から、各診療科が役立ったかの度合には、ばらつきがある。

経験した臨床研修の満足度(平均) 評価の尺度: 1点(低)← 3 →5点(高)

	評価	
全体	3.9	(参考H24) 4.0
大学病院で研修した研修医	3.7	3.9
臨床研修病院で研修した研修医	4.0	4.2

基本的な診療能力の修得の観点から、研修を行った各診療科の役立った度合

評価の尺度: 1点(低)← 3 →5点(高)

診療科	評価		診療科	評価	
内科系※1	4.0	(参考H24) 4.4	放射線科	4.3	(参考H24) 4.4
外科系※2	4.0	4.2	脳神経外科	4.1	4.3
救急	4.2	4.3	総合診療(科)	4.1	4.4
麻酔科	4.2	4.3	皮膚科	4.1	4.3
小児科	3.9	4.1	耳鼻咽喉科	4.1	4.3
産婦人科※3	3.6	3.9	泌尿器科	4.1	4.3
精神科	3.6	3.8	眼科	4.0	4.2
地域保健・医療	3.8	4.1	形成・美容外科	4.2	4.4
整形外科	4.0	4.4	その他	3.9	4.2

※1)内科系・・・内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科

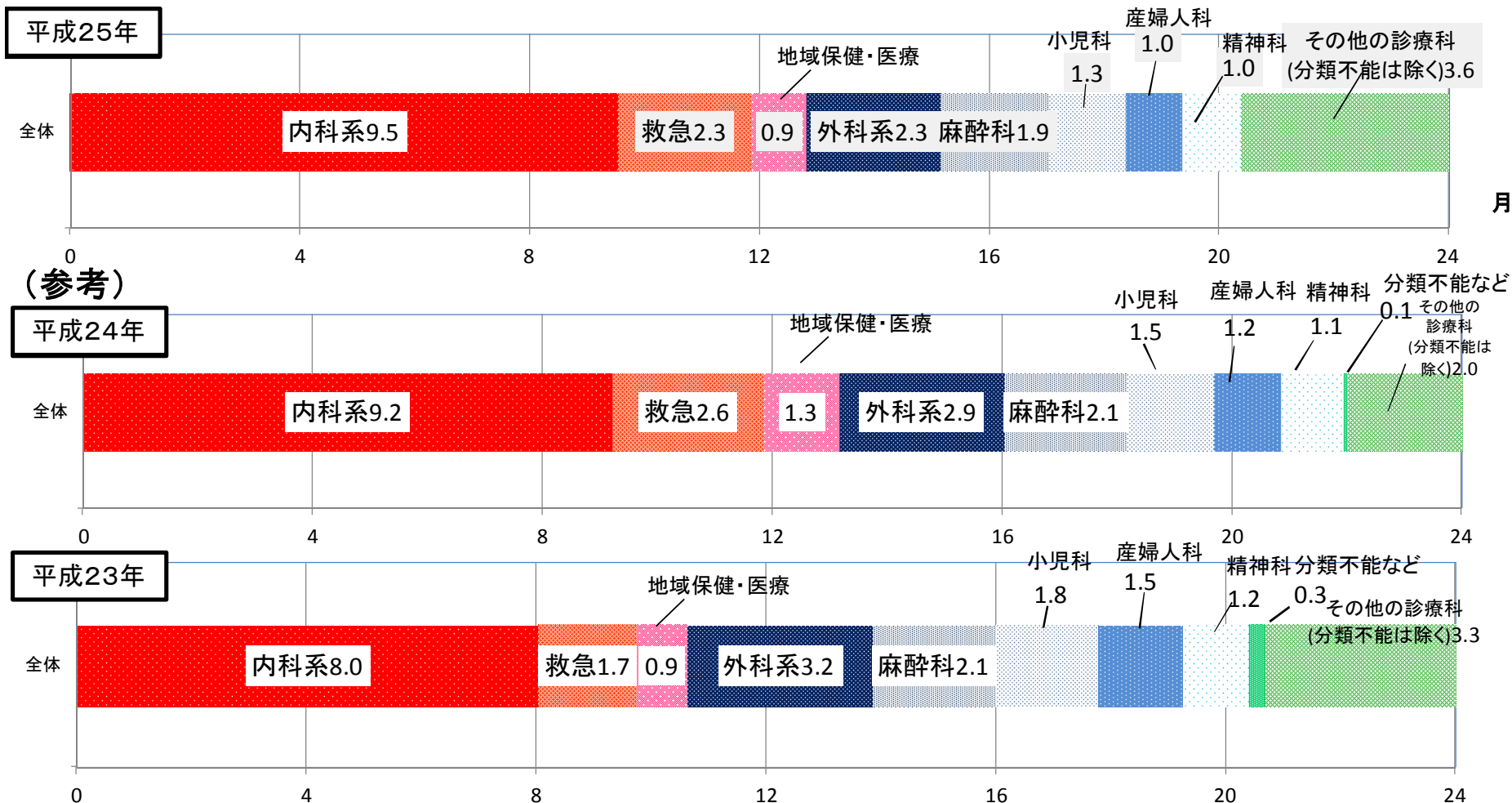
※2)外科系・・・外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科

※3)産婦人科・・・産婦人科、産科、婦人科

各診療科の平均研修期間

○平均の研修期間は、内科系が最も長く9.5月であり、外科系、麻酔科は約2月、小児科、産婦人科、精神科は約1月である。

研修医の各診療科における平均研修期間(月数)



(参考)

内科系……内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、血液内科、アレルギー科、リウマチ科、感染症内科、心療内科
 外科系……外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科
 産婦人科……産婦人科、産科、婦人科
 その他……放射線科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科 等

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化(1)

- 研修前後で希望する診療科の変化がみられ、麻酔科、精神科は増加傾向にある。
○ただし、他の世代の医師の診療科の状況も考慮する必要がある。

診療科	研修前※1				研修後※1				参考：全医師に対する割合 (平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査)		
	人数	割合	(参考H24)	(参考H23)	人数	割合 (研修前後の 増減)	(参考H24) (研修前後の 増減)	(参考H23) (研修前後の 増減)	30代 前半	30代 後半	全医師
内科系※2	2,054	35.8%	34.4%	34.4%	1,998	34.8%	35.0%	33.1%	32.6%	34.0%	37.5%
外科系※3	696	12.1%	13.7%	12.4%	612	10.7%	11.9%	12.0%	10.8%	10.8%	9.9%
小児科	541	9.4%	10.3%	10.5%	377	6.6%	7.2%	7.9%	6.9%	5.8%	5.7%
産婦人科 ※4	322	5.6%	7.0%	6.6%	273	4.8%	5.8%	5.6%	4.3%	4.2%	4.4%
麻酔科	182	3.2%	2.8%	3.6%	285	5.0%	4.7%	5.0%	5.3%	3.6%	2.8%
救急	148	2.6%	3.0%	2.3%	153	2.7%	2.2%	2.3%	1.7%	1.4%	0.8%
精神科	210	3.7%	4.0%	3.4%	256	4.5%	4.6%	4.1%	5.0%	5.9%	5.1%

※1・・・アンケート回答総数(5,735名)に対する割合

※2・・・内科系(内科、腎内、血内、糖尿病、循内、消内、神内、アレルギー、リウマチ、感染症、心療内科)

※3・・・外科系(外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、肛門外科、小児外科)

※4・・・産婦人科(産婦人科、産科、婦人科)

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化(2)

- 研修前後で希望する診療科の変化がみられ、皮膚科、眼科、放射線科を中心に増加傾向にある。
○ただし、他の世代の医師の診療科の状況も考慮する必要がある。

診療科	研修前				研修後				参考：全医師に対する割合 (平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査)		
	人数	割合	(参考H24)	(参考H23)	人数	割合	(参考H24)	(参考H23)	30代 前半	30代 後半	全医師
皮膚科	143	2.5%	1.9%	2.6%	195	3.4%	2.7%	2.7%	3.4%	3.2%	3.0%
整形外科	363	6.3%	5.3%	6.1%	375	6.5%	6.1%	6.3%	6.7%	8.0%	7.1%
眼科	116	2.0%	2.1%	2.0%	170	3.0%	2.2%	2.6%	4.1%	5.4%	4.6%
耳鼻咽喉科	107	1.9%	2.4%	2.3%	123	2.1%	2.7%	2.6%	2.7%	3.3%	3.2%
泌尿器科	100	1.7%	1.7%	2.0%	130	2.3%	2.3%	2.6%	2.5%	2.8%	2.3%
脳神経外科	148	2.6%	2.7%	3.0%	142	2.5%	2.6%	2.9%	2.4%	2.7%	2.4%
放射線科	102	1.8%	1.7%	2.1%	161	2.8%	2.9%	3.2%	2.9%	2.7%	2.0%
病理診断	30	0.5%	0.5%	0.5%	35	0.6%	0.7%	0.6%	0.5%	0.6%	0.5%
形成外科	79	1.4%	1.2%	1.3%	85	1.5%	1.3%	1.7%	1.7%	1.3%	0.8%
リハビリ	20	0.4%	0.3%	0.3%	29	0.5%	0.3%	0.4%	0.5%	0.7%	0.7%

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化(男女別割合)

○男女別にみると、産婦人科、皮膚科は、女性の割合が研修前後とも5割を超えている。

診療科	研修前					研修後				
	総計	男性		女性		総計	男性		女性	
		人数	割合	人数	割合		人数	割合	人数	割合
内科系	2054	1320	64.3%	663	32.3%	1998	1293	64.7%	634	31.7%
外科系	696	550	79.0%	130	18.7%	612	470	76.8%	128	20.9%
小児科	541	287	53.0%	236	43.6%	377	213	56.5%	151	40.1%
産婦人科	322	99	30.7%	211	65.5%	273	102	37.4%	165	60.4%
麻酔科	182	101	55.5%	78	42.9%	285	136	47.7%	142	49.8%
救急	148	118	79.7%	24	16.2%	153	120	78.4%	29	19.0%
精神科	210	130	61.9%	75	35.7%	256	164	64.1%	84	32.8%
皮膚科	143	57	39.9%	86	60.1%	195	61	31.3%	130	66.7%
整形外科	363	319	87.9%	36	9.9%	375	337	89.9%	31	8.3%
眼科	116	63	54.3%	48	41.4%	170	88	51.8%	77	45.3%
耳鼻咽喉科	107	76	71.0%	29	27.1%	123	81	65.9%	41	33.3%
泌尿器科	100	86	86.0%	13	13.0%	130	110	84.6%	19	14.6%
脳神経外科	148	125	84.5%	19	12.8%	142	117	82.4%	19	13.4%
放射線科	102	75	73.5%	27	26.5%	161	111	68.9%	47	29.2%
病理診断	30	21	70.0%	9	30.0%	35	23	65.7%	11	31.4%
形成外科	79	41	51.9%	37	46.8%	85	46	54.1%	37	43.5%
リハビリ	20	9	45.0%	11	55.0%	29	14	48.3%	14	48.3%

※性別不詳の数値は割愛しているため、男女の合計割合が100%にはならない。

従事したい診療科を選んだ理由・従事したい診療科が変わった理由

- 従事したい診療科を選んだ理由は、「やりがいがある」「なんとなく相性が合う」「学問的に興味がある」の順に多い。
- 従事したい診療科が変わった理由は、「仕事の内容が想像と違った」「研修開始前には希望診療科が未定だった」「専門性を維持しづらい」の順に多い。

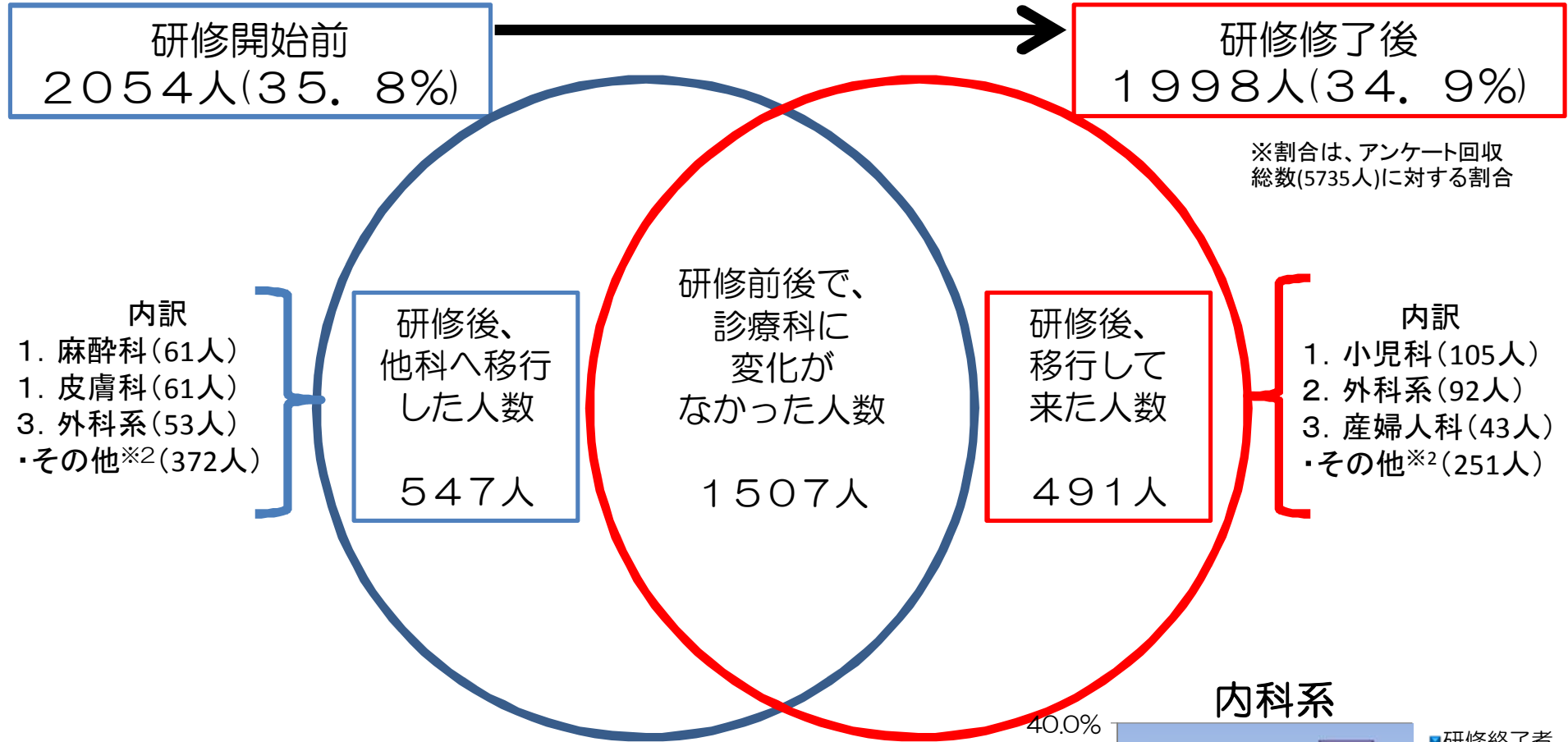
従事したい診療科を選んだ理由 (※複数回答のうち「最も影響が強かった」と回答した項目) (n=5,735)

項目	人数	割合
やりがいがある	1,924	33.5%
なんとなく相性が合う	1,138	19.8%
学問的に興味がある	1,115	19.4%
適性・才能があると感じた	637	11.1%
専門性を維持しやすい	171	3.0%
親や親戚がその診療科・分野に従事	138	2.4%
優れた指導者がいる	131	2.3%
労働環境(勤務時間・当直)が良い	73	1.3%
先輩や教授に誘われた	66	1.2%
出産・育児・教育の環境が整っている	52	0.9%
独立・開業しやすい	33	0.6%
給与が良い	21	0.4%
患者・患者家族からの信頼を得やすい	18	0.3%
訴訟のリスクが低い	4	0.1%
医学博士号や専門医資格がとりやすい	2	0.0%

従事したい診療科が変わった理由 (※複数回答のうち「最も影響が強かった」と回答した項目) (n=2,301(研修前後で変わった者))

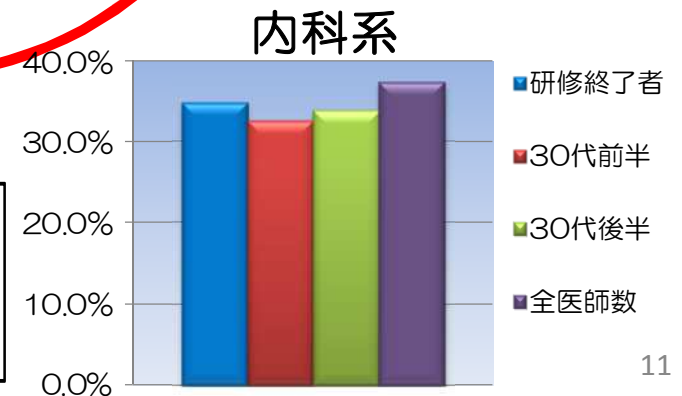
項目	人数	割合
仕事の内容が想像と違った	333	13.9%
研修開始前には希望診療科が未定だった	326	13.6%
専門性を維持しづらい	221	9.2%
適性・才能がない	216	9.0%
なんとなく相性が合わない	167	7.0%
労働環境(勤務時間・当直)が悪い	134	5.6%
やりがいが見いだせない	130	5.4%
学問的な興味を失った	106	4.4%
出産・育児・教育の環境が整っていない	64	2.7%
精神的にきつい	55	2.3%
突然呼び出されることが多い	41	1.7%
人間関係に疲弊	37	1.5%
優れた指導者がいない(または転出した)	34	1.4%
研修施設・設備が充実していない	25	1.0%
給与が悪い	11	0.5%
訴訟となるリスクが高い	8	0.3%
医学博士号や専門医資格が取りづらい	2	0.1%

臨床研修前後で将来希望する診療科の変化 内科系※1

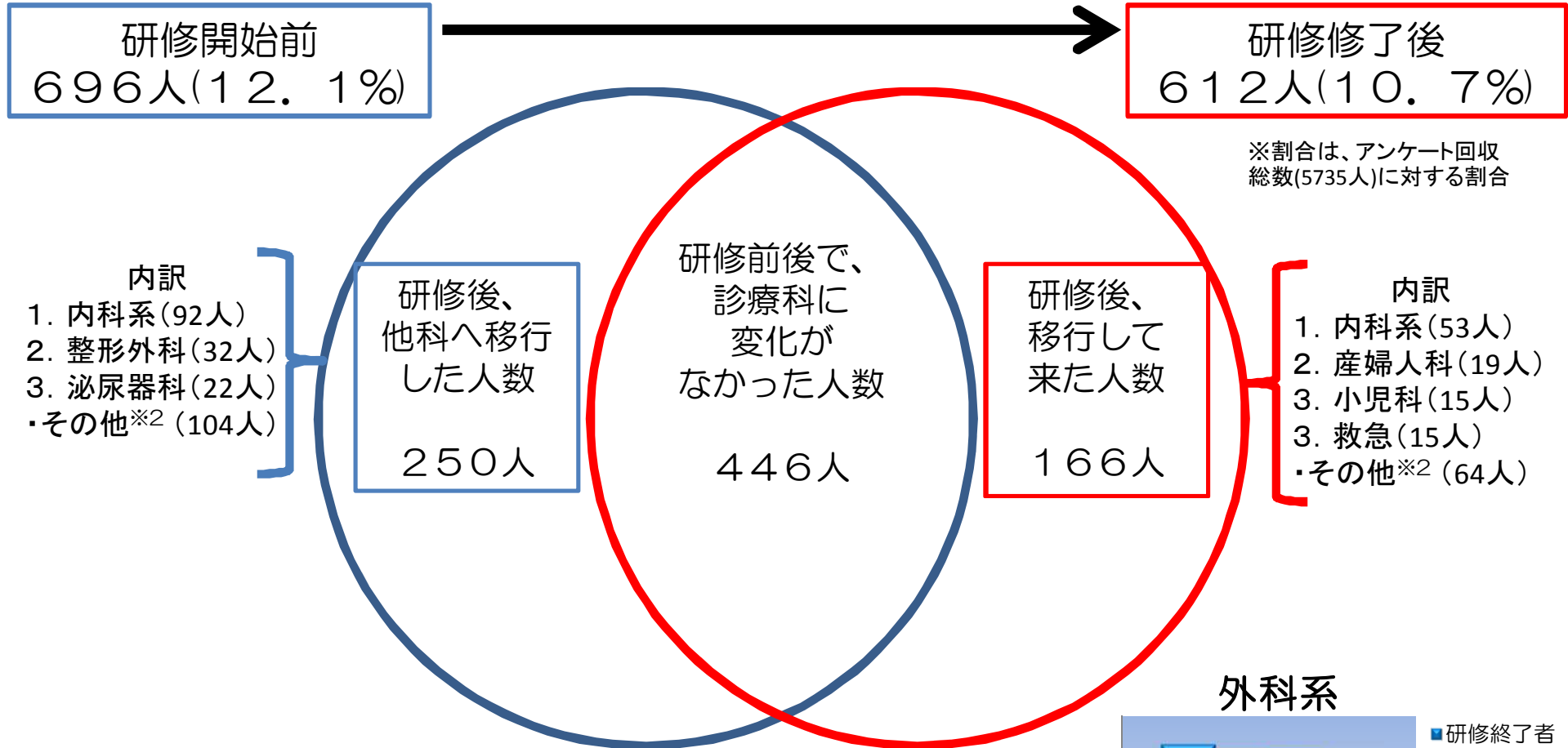


※1内科系・・・内科、腎内、血内、糖尿病、循内、消内、神内、アレルギー、リウマチ、感染症、心療内科
 ※2その他・・・無記入・無効回答含む

(参考)
内科系医師の割合→
平成22年度 医師・
歯科医師・薬剤師調査

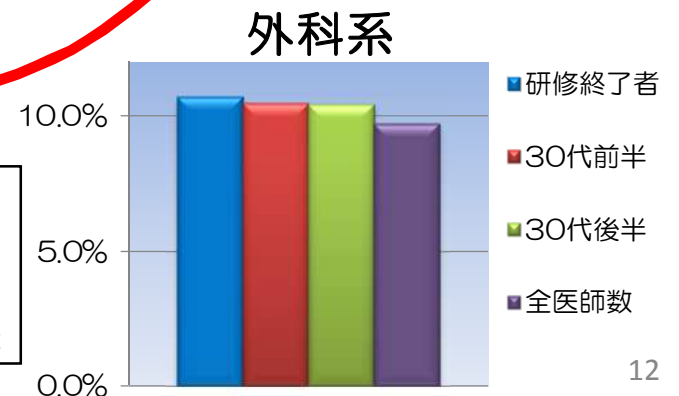


臨床研修前後で将来希望する診療科の変化 外科系※1

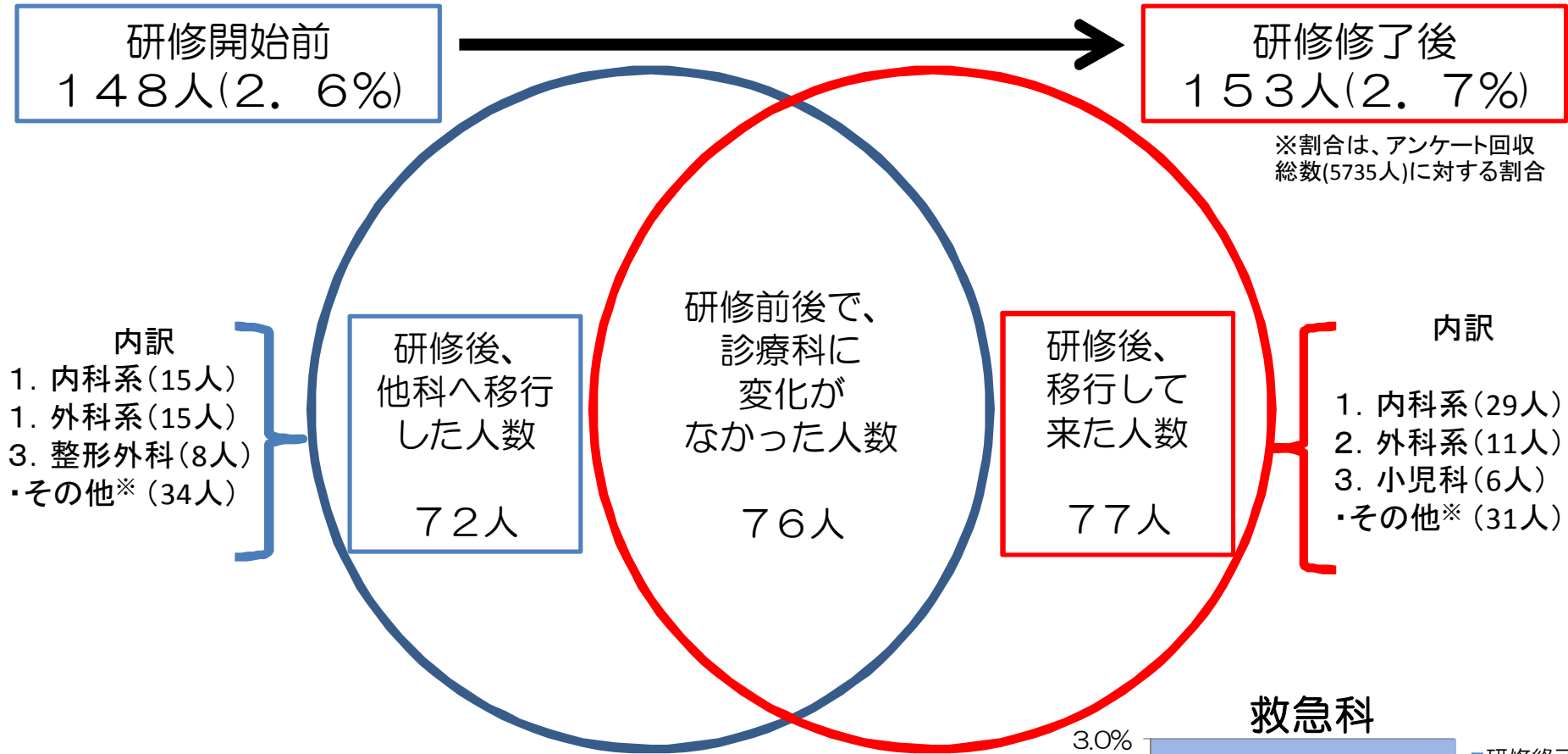


※1外科系・・・外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、
心臓血管外科、気管食道外科、肛門外科、小児外科
※2その他・・・無記入・無効回答含む

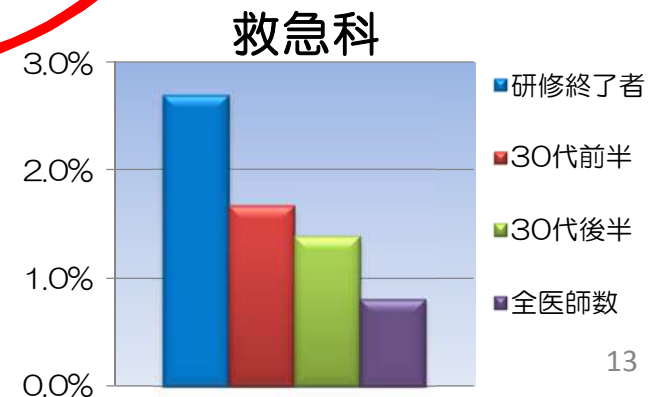
(参考)
外科系医師の割合→
平成22年度 医師・
歯科医師・薬剤師調査



臨床研修前後で将来希望する診療科の変化 救急科

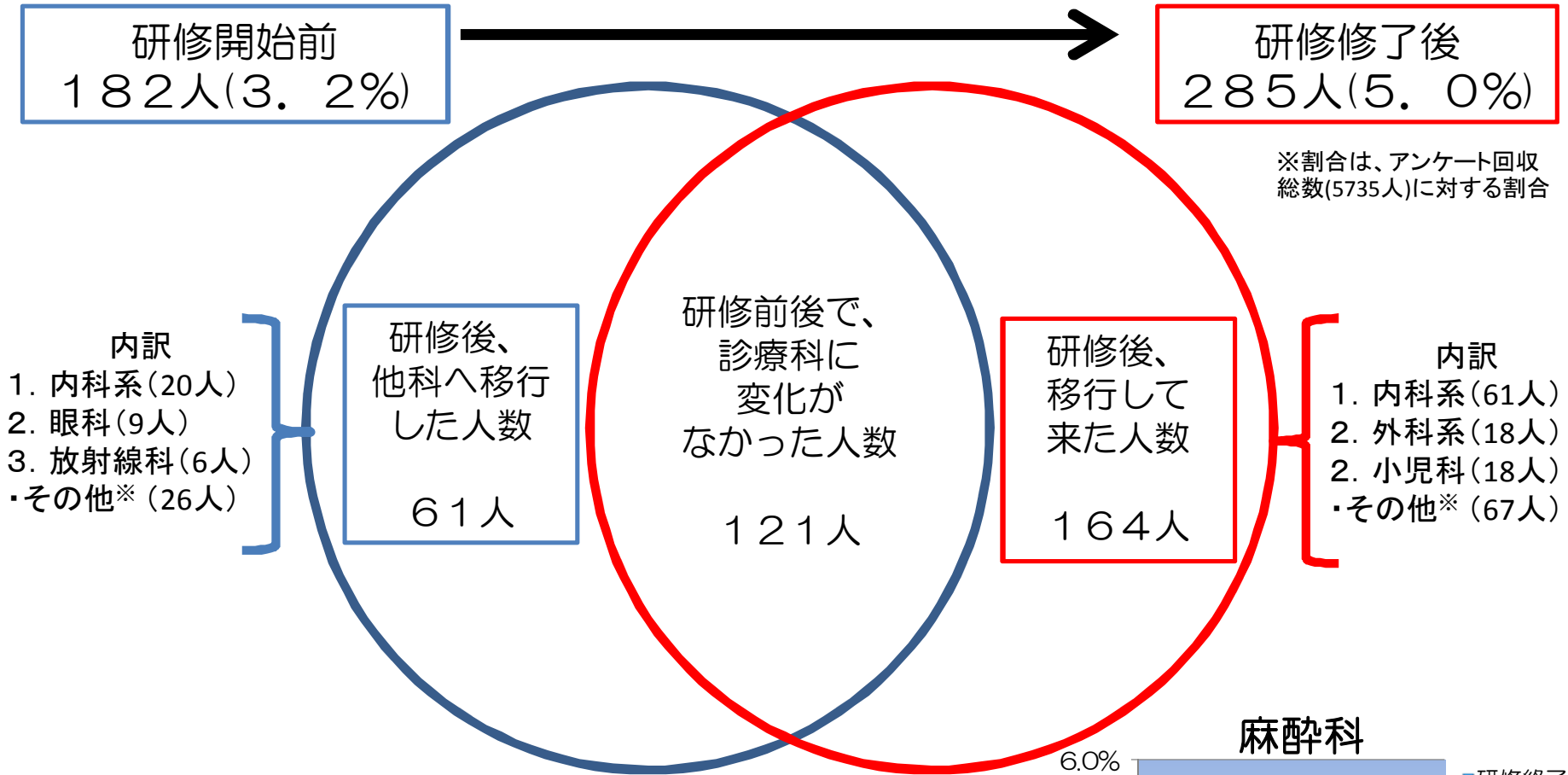


(参考)
救急医の割合→
平成22年度 医師・
歯科医師・薬剤師調査

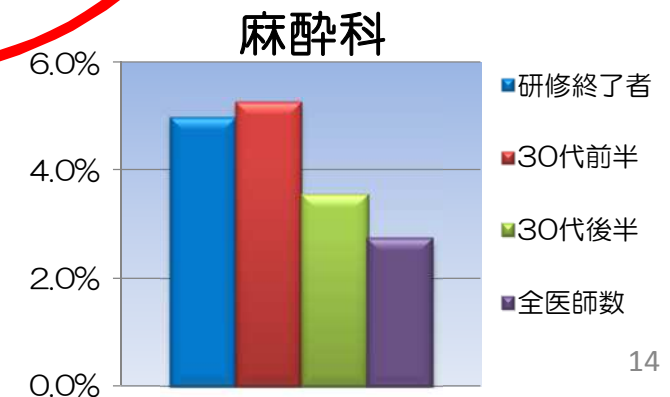


※その他・・・無記入・無効回答含む

臨床研修前後で将来希望する診療科の変化 麻酔科

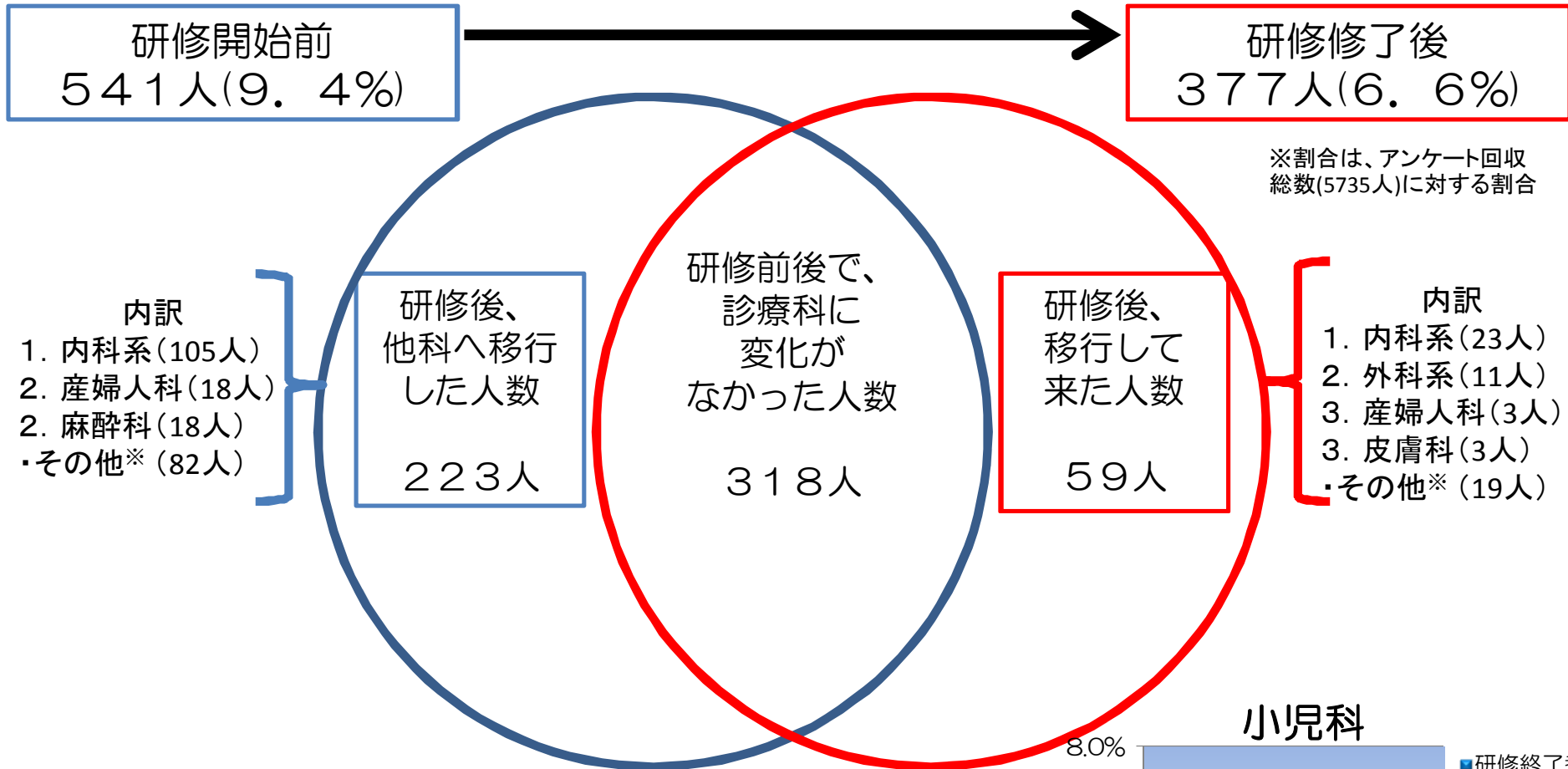


(参考)
麻酔科医の割合→
平成22年度 医師・歯
科医師・薬剤師調査

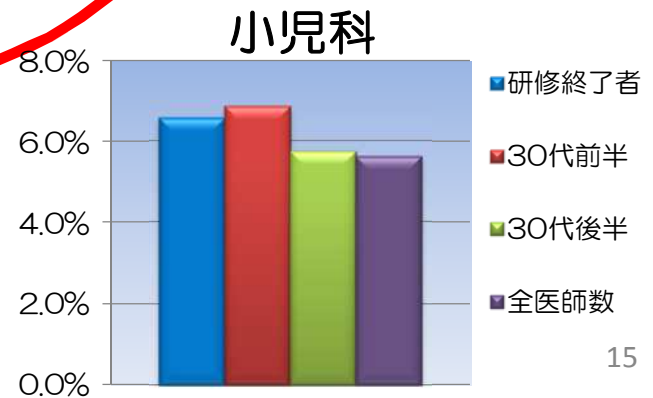


※その他・・・無記入・無効回答含む

臨床研修前後で将来希望する診療科の変化 小児科

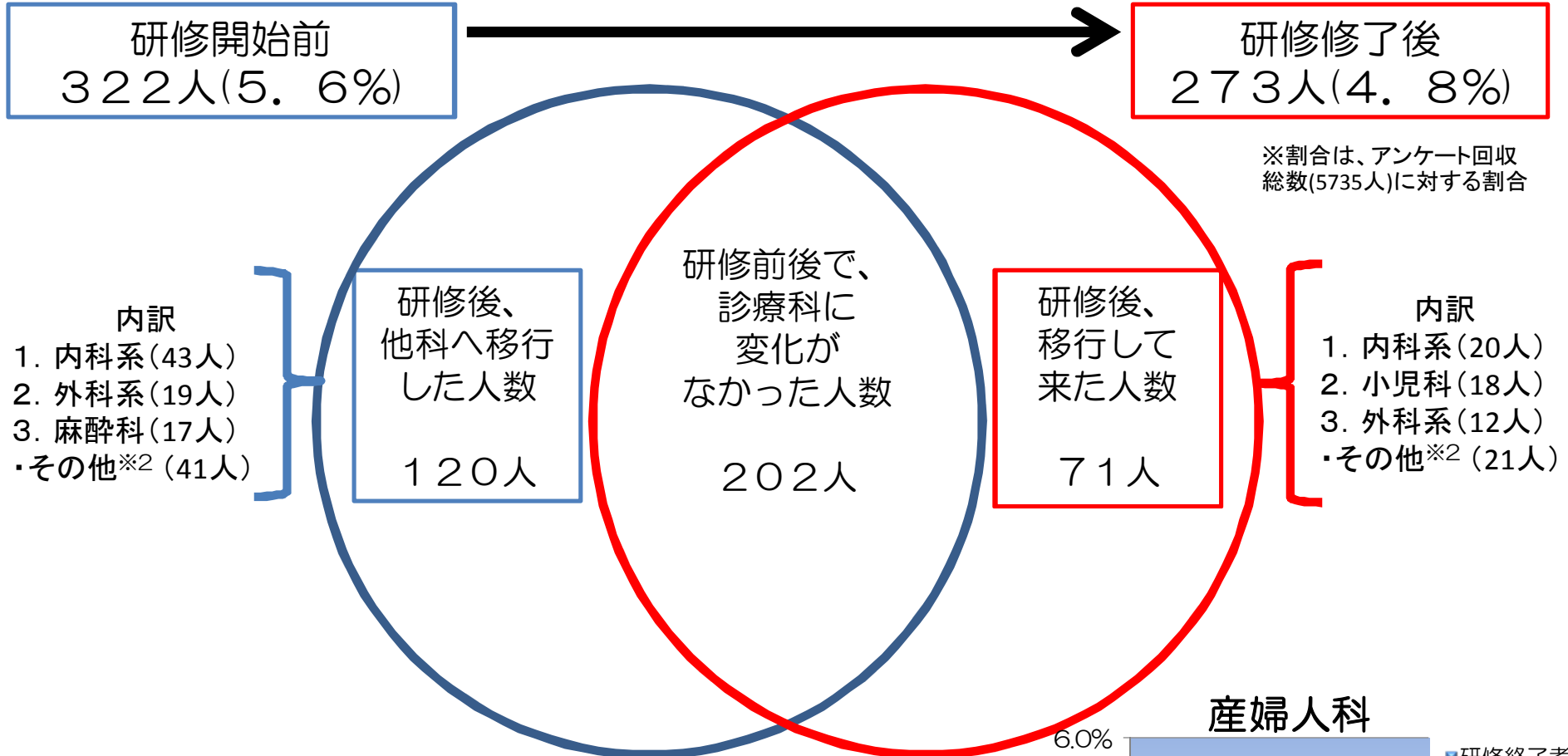


(参考)
小児科医の割合→
平成22年度 医師・
歯科医師・薬剤師調査



※その他・・・無記入・無効回答含む

臨床研修前後で将来希望する診療科の変化 産婦人科※1



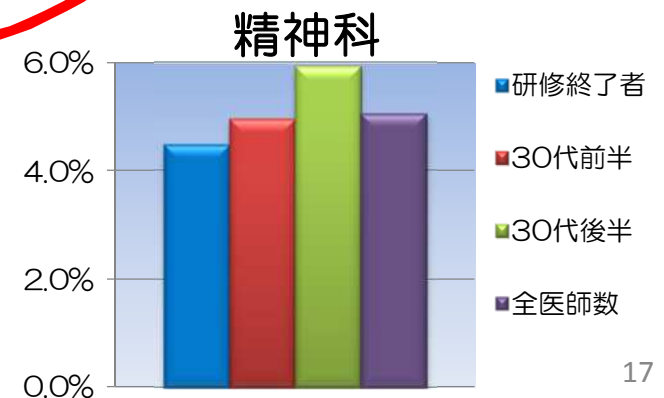
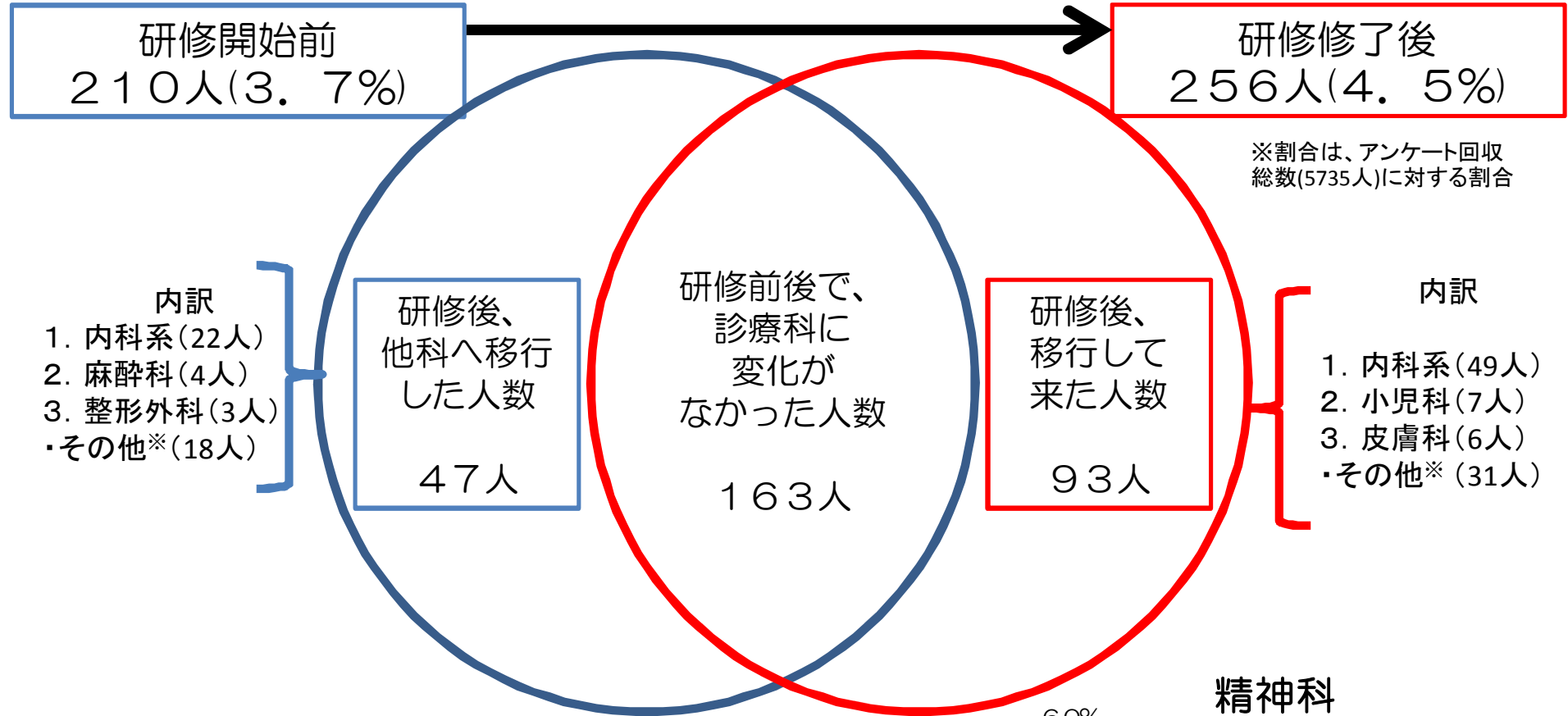
産婦人科



(参考)
産婦人科医の割合→
平成22年度 医師・
歯科医師・薬剤師調査

※1産婦人科・・・産婦人科、産科、婦人科
※2その他・・・無記入・無効回答含む

臨床研修前後で将来希望する診療科の変化 精神科



(参考)
精神科医の割合→
平成22年度 医師・
歯科医師・薬剤師調査

※その他・・・無記入・無効回答含む

臨床研修修了後のキャリアパス等 について

研修修了後に勤務する病院

○臨床研修修了後に勤務する病院は、大学病院、大学病院以外の病院がそれぞれ約5割である。

臨床研修修了後に勤務する病院(予定)の種別

病院の種別	割合	
大学病院 (卒業した大学、卒業した以外の大学共に含む)	49.9%	(参考H24) 50.5%
大学病院以外の病院	45.7%	47.0%
その他※	4.5%	2.4%

※その他・・・無回答、診療所の開設、臨床以外の進路など

臨床研修修了後に勤務する病院(予定)を選んだ理由

(※複数回答のうち「最も影響が強かった」と回答した項目)

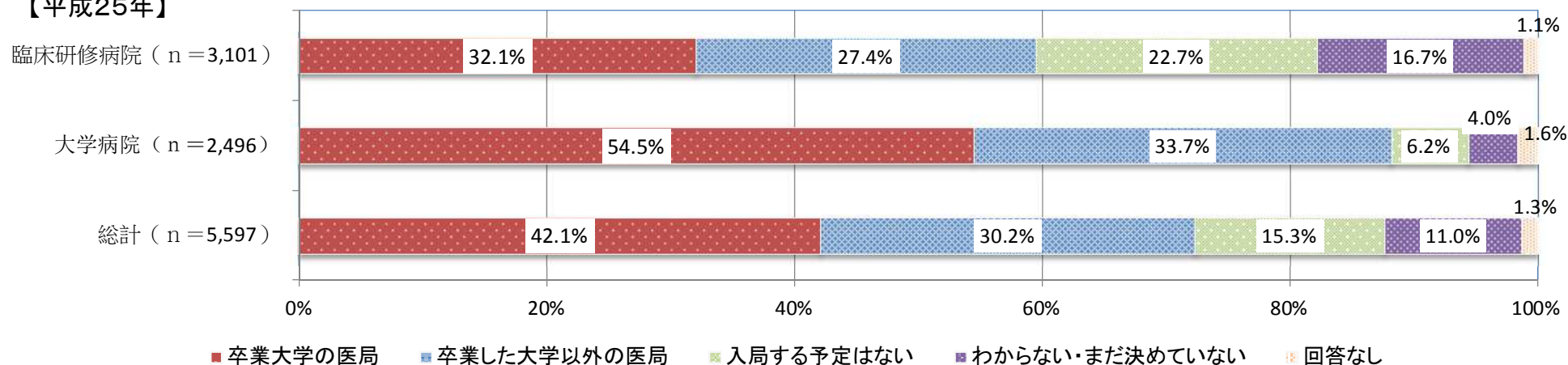
順位	大学病院を選択した研修医の回答		大学病院以外の病院を選択した研修医の回答	
	理由	割合	理由	割合
1	出身大学である	18.6% (参考H24) 18.9%	臨床研修修了後の研修プログラムが優れている	21.5% (参考H24) 22.4%
2	臨床研修修了後の研修プログラムが優れている	18.4%	優れた指導者がいる	20.5%
3	優れた指導者がいる	15.2%	臨床研修を受けた病院である	16.1%
4	臨床研修を受けた病院である	11.8%	大学からの派遣	9.2%
5	病院の施設・設備が充実	6.9%	病院の施設・設備が充実	6.3%

臨床研修修了後の入局予定

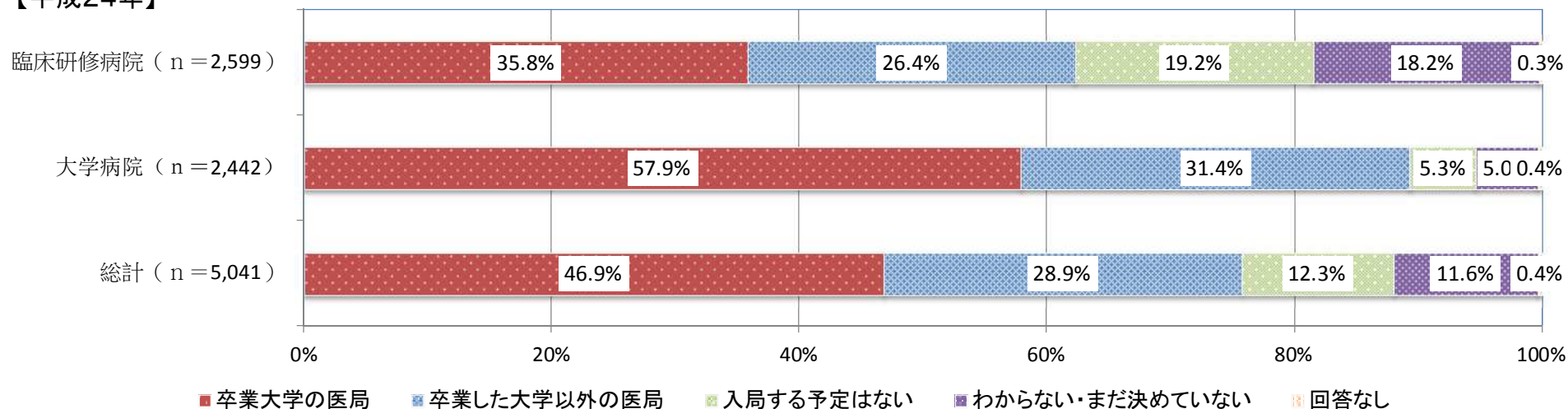
○臨床研修修了後に入局(大学の講座や教室等に所属)を予定している者は全体の約7割で、臨床研修実施場所別で見ると、大学病院では約9割、臨床研修病院では約6割である。

臨床研修修了後の入局予定

【平成25年】



【平成24年】

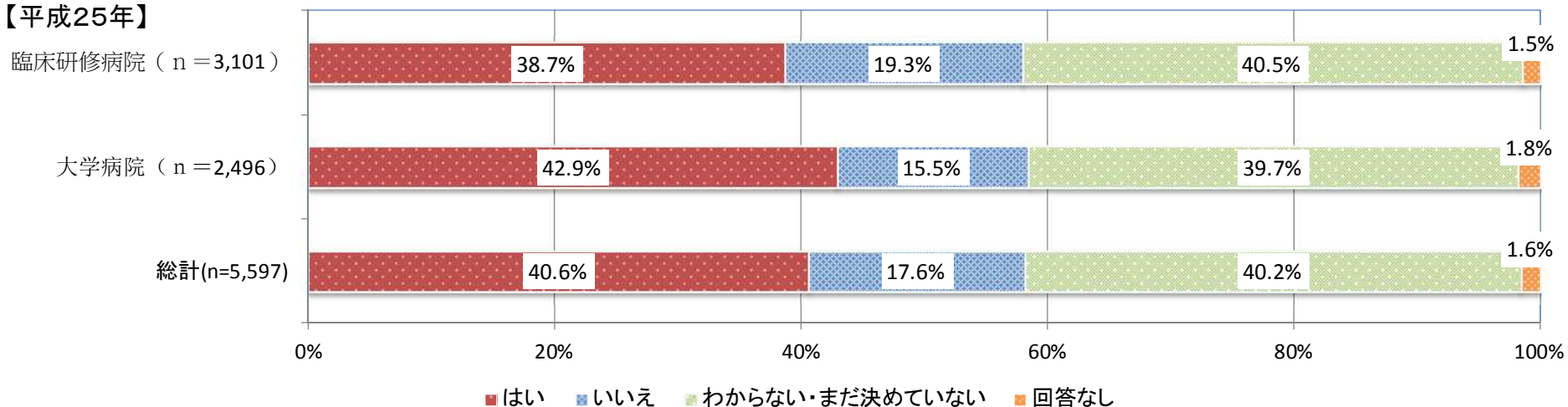


医学博士取得の希望

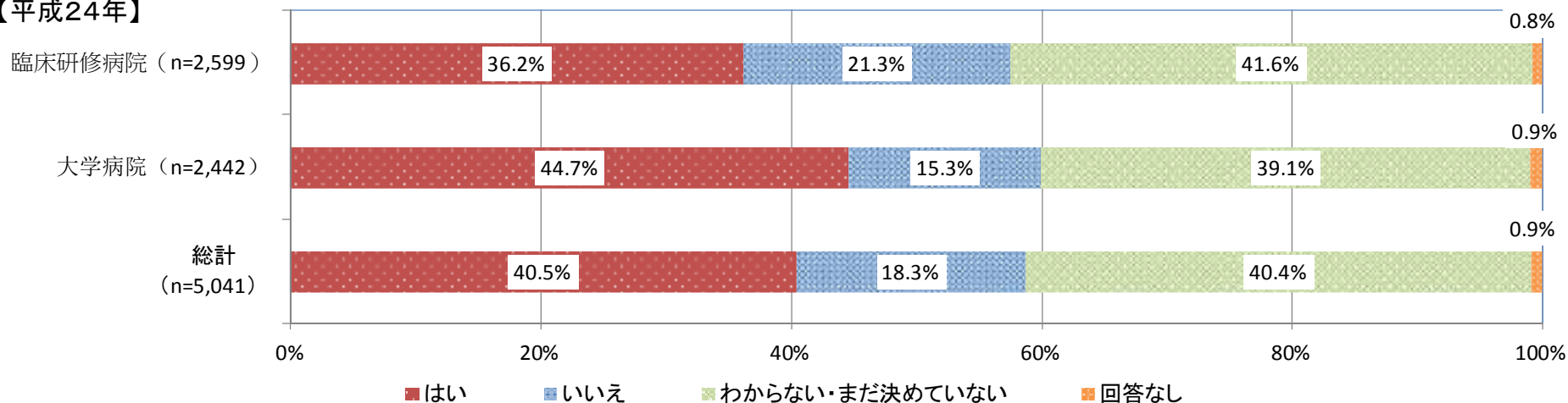
○医学博士の取得を希望する者は、全体の約4割で、臨床研修実施場所別で見ると、大学病院の方が多い傾向にある。

医学博士の取得希望

【平成25年】



【平成24年】



大学院進学の時期等 (※医学博士の取得希望を有する者のみ回答)

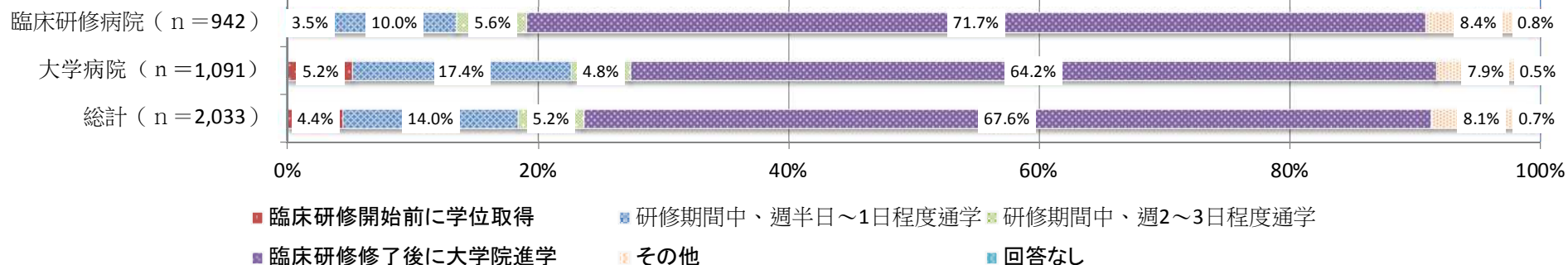
○理想的な大学院進学時期は、「臨床研修修了後に大学院進学」が約7割である一方、「臨床研修期間中の通学」も約2割が理想となっている。

大学院への進学の時期(理想とする形)

【平成25年】

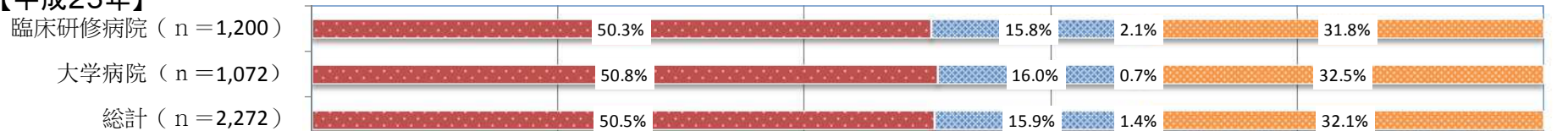


【平成24年】

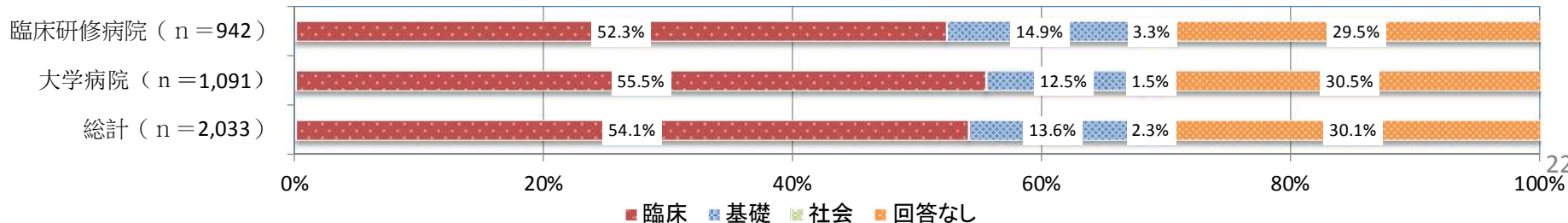


大学院での研究分野

【平成25年】



【平成24年】

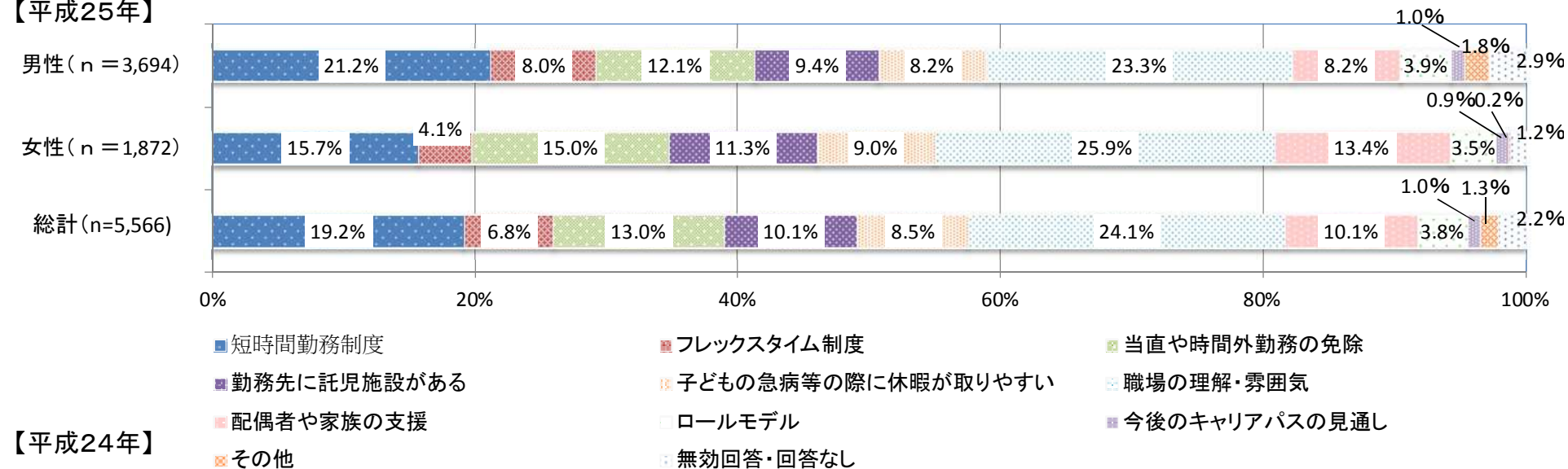


子育てをしながら勤務を続ける上で必要な条件

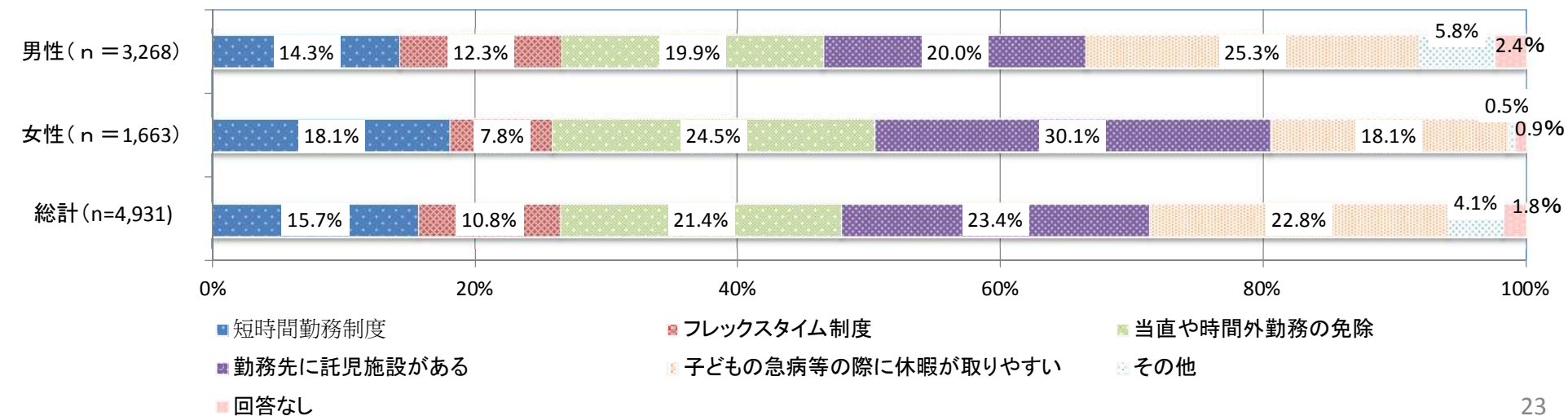
○子育てをしながら勤務を続ける上で必要な条件は、「職場の理解・雰囲気」「短時間勤務制度」「当直や時間外勤務の免除」「勤務先に託児施設がある」「配偶者や家族の支援」の順に多い。

子育てをしながら勤務を続ける上で必要と考えられるもの（複数回答のうち「最も必要」と回答した項目）

【平成25年】



【平成24年】



地域枠の状況や医師不足地域への従事
に対する意識等について

1. 地域枠の分類

(出典:平成25年臨床研修修了者アンケート調査【速報値】)

配布対象者:7,545

回収数:5,619 (回収率:74.4%)

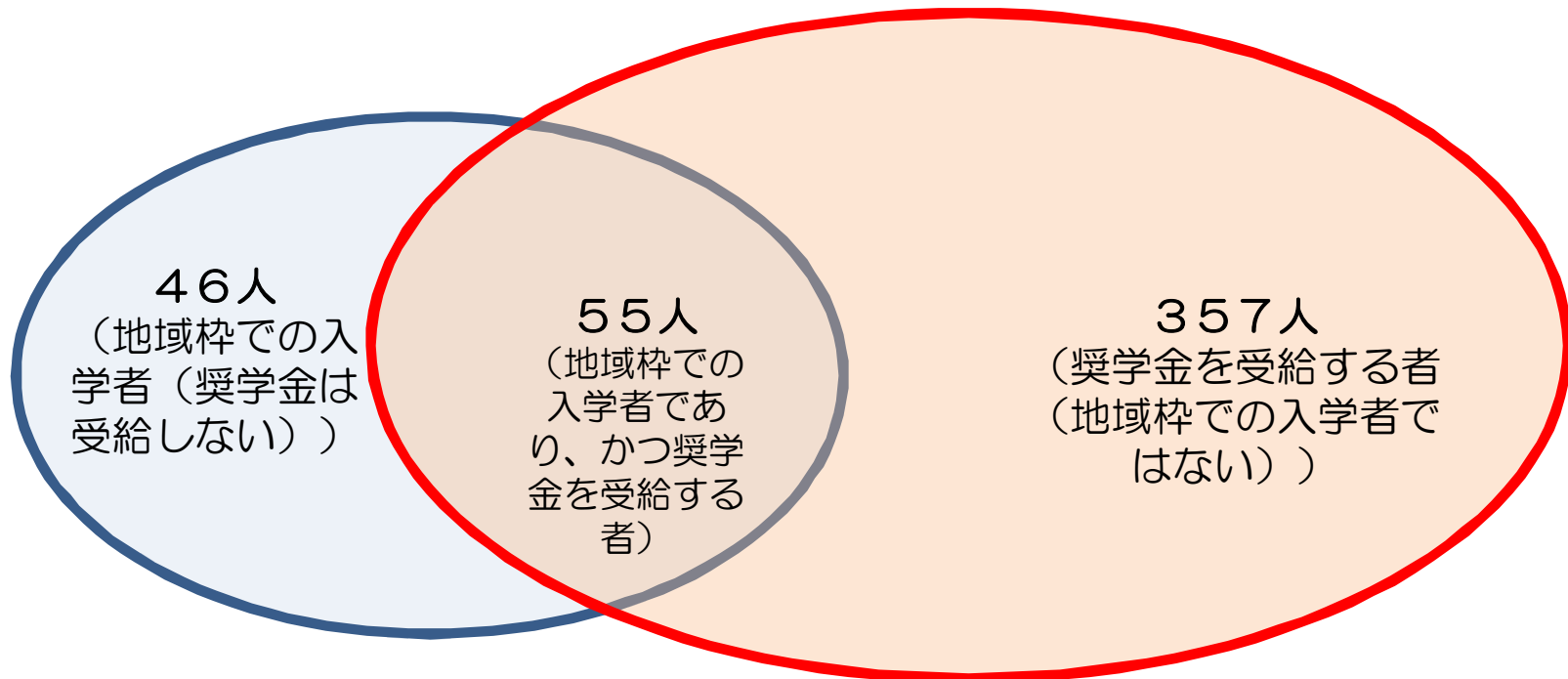
①地域枠での入学者(※)

101人(1.8%)

(※) 地域医療等に従事する明確な意志をもった学生の選抜枠

②奨学金の受給者

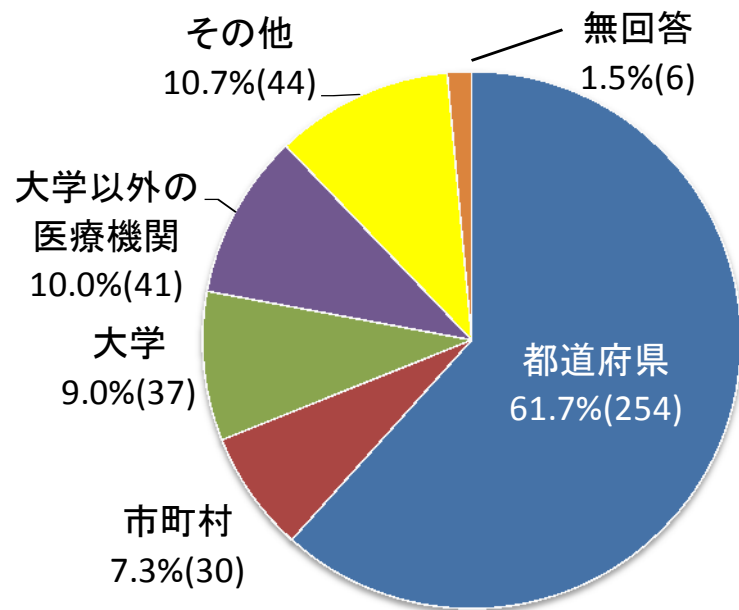
412人(7.3%)



(参考) ①または②に該当する者 458人

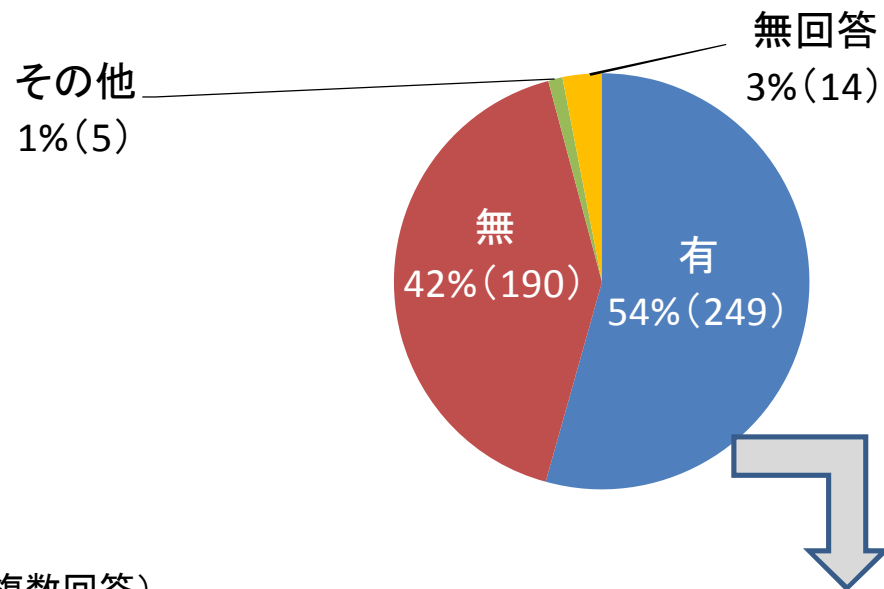
2. 奨学金の支給元

(単回答 (n=458))

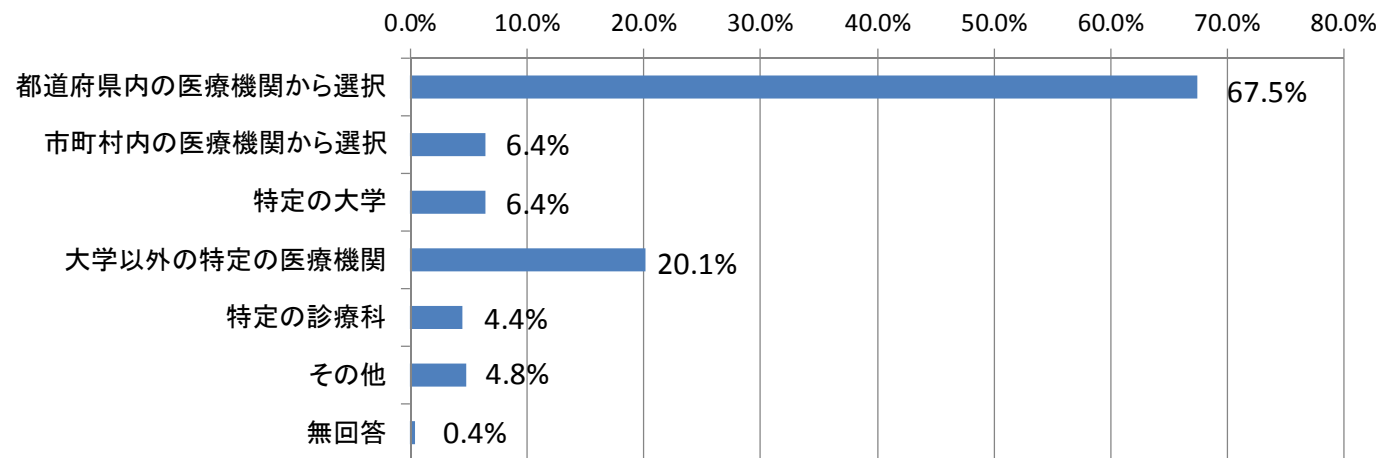


3. 臨床研修中における地域等への従事

奨学金の免除要件について、臨床研修期間中における特定の地域等への従事義務の有無 (n:458)

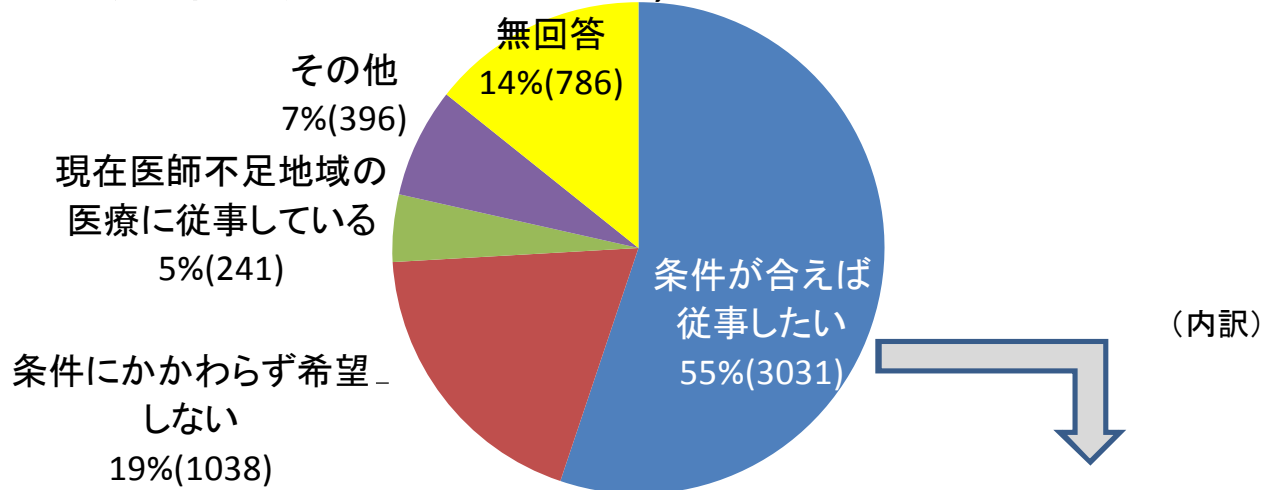


(内訳:複数回答)

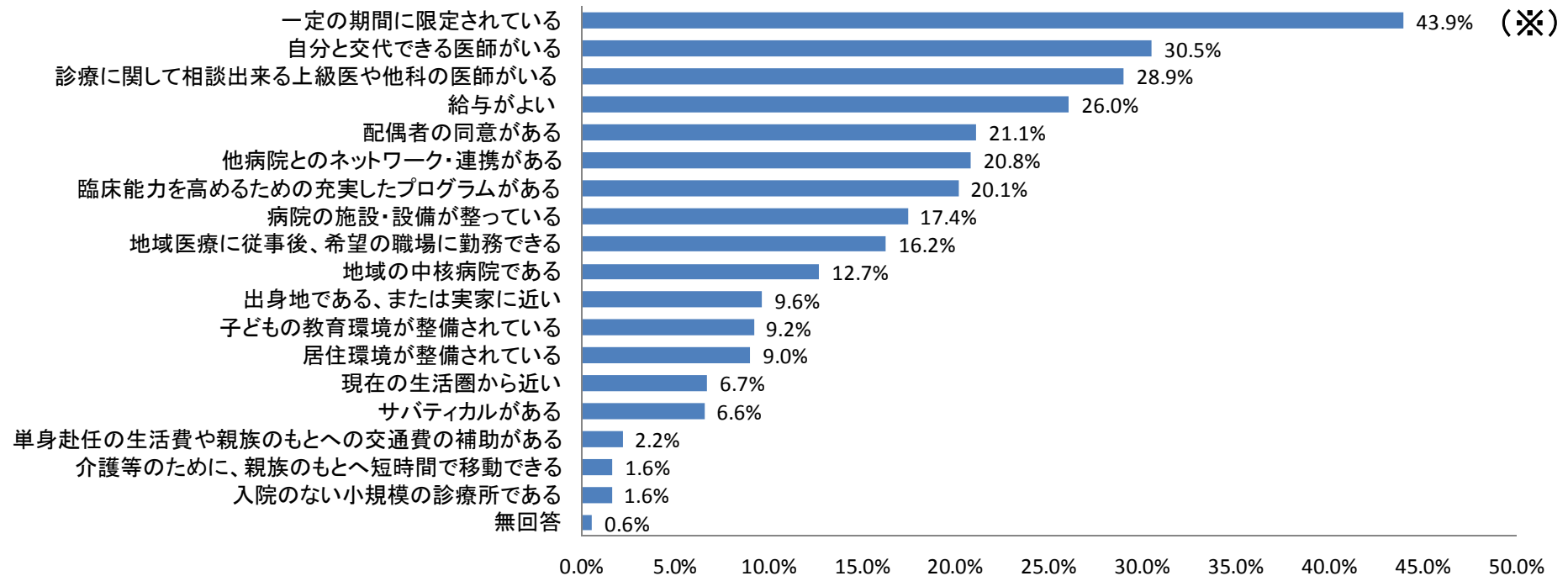


4. 医師不足地域への従事についての意識(地域枠以外の者)

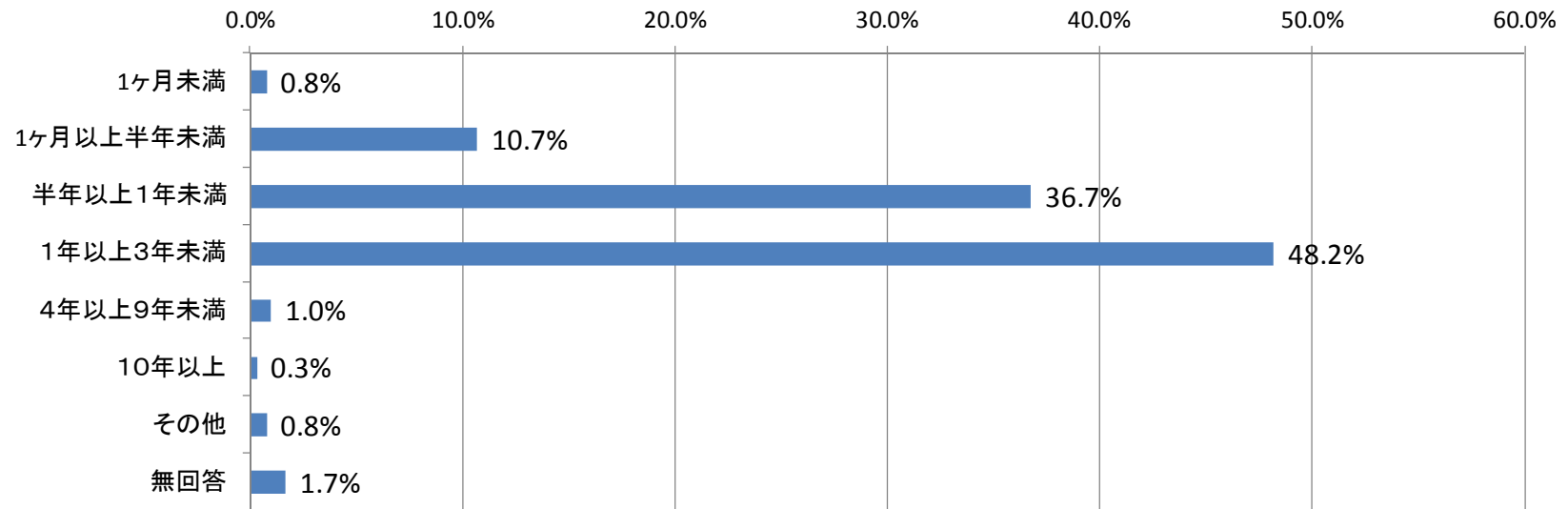
(1) 医師不足地域の医療に従事することについて(n:5,492)



(2) 医師不足地域の医療に従事する条件について(複数回答)(n:3,031)



(3)「一定期間」について、どの程度を希望しているか(※)n:1,331



(4)「一定期間」について、どの時期を希望しているか(※)n:1,331

